

1 日 時 平成30年7月27日（金）午後7時41分～47分

2 場 所 東淀川区役所 3階 304会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 健康・福祉部会委員）

小山 幸太議長、青山 典弘委員、大谷 通久委員、近藤 悟委員、吉田 広委員

（大阪市会議員）

守島 正議員

（東淀川区役所）

渡邊保健福祉課長、有馬地域包括ケア推進担当保健主幹、岡田保健福祉課長代理、

今井保健福祉課生活困窮者自立支援担当課長代理、

百瀬保健福祉課保健担当課長代理、原生活支援担当課長、北田保健福祉課担当係長、

馬場保健福祉課担当係長、鈴木保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成29年度東淀川区運営方針自己評価

（2）今後の取組みの方向性について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

（1）19:00～19:41 学習会として開催・以下議事概要

・議題1「平成29年度運営方針自己評価」について、送付資料3に基づき説明

・議題2「今後の取組みの方向性」について、当日配付資料1に基づき説明

・要援護者名簿について

地域に要援護者見守りネットワーク強化学業の管理者へアンケートを実施し、今後、要援護者名簿の活用・安否確認の体制整備について、さらなる地域への支援が必要と考えている。今年度は地域の要配慮者の支援に関する学習会や要配慮者への支援を盛り込んだ地域の防災訓練を実施していく。

・新しい百歳体操について

各関係機関から積極的にサポートメニューについて提案をいただいている。大阪経済大学には住民の方が使いやすいコグニサイズのDVDを作ってもらっており、10月くらいに出来上がり配布していく予定。社会福祉協議会からも地域担当の保健師と協力して

進めていきたい、という声をもらっている。

要支援1・2の方も参加できるよう取り組んでいきたいが、そのためにも今年度のサポーター養成講座の中でハード面への問題、ボランティアの育成の問題への視点を盛り込みたい。

保険加入について、福祉局からの情報を集めているところであるが、地域主体の百歳体操であるので、地域住民の意見として求められている、という方向で持っていきたい。

資料については、ご意見いただいた障がいのデータの部分を省いて活用している。東淀川区の特徴として複合課題を抱えている世帯が多く、高齢者が増えていくと同時に認知症の社会問題が減っていかないのが、寝たきり予防だけでなく認知症予防の視点が重要である、という方向で進めている。

(ワークショップ実施)

- ・6月の地震の経験を生かすために、災害時の区役所の職員の参集状況を振り返って、今後は参集できた職員が区役所として危険な地域の場所等の情報がアナウンスできるよう季節別・時間帯別にシミュレーションしたハードづくりが必要ではないか。防災マップ等を年に2回くらい配付した方が認知されやすい。

(職員) 災害当日は保健師が地域の中でリスクの高い方から安否確認を行った。今回の災害により、地域の防災訓練等への機運が高まっている。

- ・複合課題世帯について、区の取り組みが進んでいるのは感じるが、依然として複合課題の世帯が多く、医療支援につなげるのに時間がかかる。特に精神疾患の方の対応は時間を要するが、その対応を行う区役所の職員の数が絶対的に少ない。今後、より充実するように検討していただきたい。

(職員) 複合課題世帯について、しっかりケースに寄り添い支援をしていかなければならない。マンパワーを充実させていくことで、複合課題世帯の方がよりよい支援に繋がっていくと考えられるため、体制の充実について検討していく。

- ・百歳体操について、本年度4ヶ所で積極的にいろんな機関がかかわって、より充実した百歳体操の実践というのをしていくということだが、他の地域にもその情報を提供し学びの機会を提供してもらえたらありがたい。

(職員) 新しい百歳体操について、9月くらいから4ヶ所でスタートしていくが、全地域のサポーター交流会で周知した。また、来年年明けに4ヶ所の活動内容について報告会等を検討している。

(2) 19:41～19:47 部会開催、以下議事録

○小山議長 それでは、ここから部会が開始となります。

そして、ワークショップで出された意見について、発表者の青山委員から発表いただきます。

会議録のことがありますので、まずお名前を名乗っていただいた上でご発言をいただきますようお願いいたします。

○青山委員 公募委員の青山です。よろしくお願いいたします。

ワークショップで話し合われた内容について報告をさせていただきます。

大谷委員から、地震の時の区役所の職員の方の出勤状況であったりとか、区役所から危険な地域のアナウンスみたいなのを今回の経験を生かして今後していけばいいのではないかというご意見がありました。区役所からは、保健師として地域の中でリスクの高い方から安否確認をされたということであったりとか、地域で防災訓練等々の機運のほうが高まっていけばいいというところで、区役所のほうでもサポートをしていっていただけるといような内容をご回答いただいたと思っております。

続きまして、小山委員から、複合課題世帯についての強化についての項目ですけれども、区の精神保健福祉担当の方、十分に頑張ってくださいとはいるんですけれども、やはり配置人数というところが2人しかおられないというところで、80・50でこれから息子さんとか、娘さんが何かしら精神疾患とかを抱えていらっしゃる世帯が多いのではないかという意見がありました。区役所からもお話がありまして、やはりマンパワーというところで、今後、そのところを充実させていくことで複合課題世帯がよりよい支援につながっていくのではないかなというご回答があったかと思えます。

3つ目、大谷委員から百歳体操についてですけれども、本年度4ヶ所で積極的にいろんな機関が関わって、より充実した百歳体操の実践というのをされていくということなんですけれども、実際、他のところでされている活動者の方にもその点についてはしっかりと情報提供をいただいて、4ヶ所以外の方がそういうところで学びの機会を提供してもらえたらというお話のところ、サポーターの交流会であったりとか、また来年年明けに4ヶ所でこのような活動をされましたという報告会等を区役所でご検討していただいているということでしたので、またそちらのほうにたくさんの方がご参加いただいて、区で機運が高まっていけばということでした。

以上でよろしいでしょうか。

○小山議長 ありがとうございます。

発表者から意見がありましたが、区役所よりご意見や補足、31年度事業に反映できるような部分がありましたら、対応方針などをご説明いただけますでしょうか。

○渡邊課長 保健福祉課長の渡邊でございます。ご意見どうもありがとうございました。

防災の取組は当然どんどん進めていくのはもとより、今いただきました複合課題世帯につきましては、本当に今後大きな課題だと思っております。包括さんとかいろんな関係機関のお力もいただきながら、また区役所も体制強化を進めていければとは考えております。みんなと一緒にこの課題を解決できるように頑張っていきたいと思っております。

あと、百歳体操につきましては、本当にこれから、新しい取組ではございますので、実際にやってみた成果という、そのいいところをまた皆さんにシェアさせていただいて、またこれもやっていただきたいなという気持ちになっていただけるように頑張っていきたいと思っておりますので、地域のほうに広がっていったらいいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○小山議長 ありがとうございます。

いただいた意見をまとめまして、私からこの後の本会で報告いたします。

守島議員からご助言あればお願いしたいんですが、お願いします。

○守島議員 参加させていただき、ありがとうございます。

助言は特にはないですが、皆さんの意見を聞かせていただきました。今日は東淀川区で救急救命のサポートをしたいという方が見学に来たいということで一緒に拝聴させていただきました。あくまで任意ですので、また紹介を部会の皆さんにできたらなというふうに思います。特に僕からの助言はありません。ありがとうございます。

○小山議員 ありがとうございます。

それでは、時間も迫ってまいりましたので、この辺で終了したいと思います。

本日は委員の皆さんから意見が出され、有意義な会議になったと思います。

ここからは、進行を事務局にお返しします。

○北田係長 ありがとうございます。

今後の区政会議のスケジュールについては、この後、本会でまとめて説明させていただきます。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議での議論内容を各地域活動協議会や所属の団体などで説明いただき、各地域などからの意見をまたこの区政会議にフィードバックしていただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、地域活動協議会の会長様には、先日、同じ資料をお渡ししております。

これをもちまして、本日の区政会議健康・福祉部会を閉会いたします。貴重なご意見ありがとうございました。